【レジメン名】ラムシルマブ＋アルブミン懸濁型パクリタキセル療法

【病名】切除不能・進行再発の胃癌（2 次治療）

【投与量】

Day 1、15 に投与

ラムシルマブ　　8 mg/kg：60 分かけて※）

Day 1、8、15 に投与

アルブミン懸濁型パクリタキセル　　100 mg/㎡：30 分かけて

1 クールを 28 日間とする

※）忍容性を確認後に短縮可

	Day 1	Day 8	Day 15	……	Day 29
ラムシルマブ	↓		↓		↓
アルブミン懸濁型パクリタキセル	↓	↓	↓		↓

★備考

・ラムシルマブ投与時に発現する infusion reaction を軽減させる為、投与前に抗ヒスタミン剤（ジフェンヒドラミン）の投与を施行。

・ラムシルマブによる高血圧が発現することがある為、投与開始前及び投与期間中は定期的に血圧の測定を実施。

・ラムシルマブによるネフローゼ症候群、蛋白尿が発現することがある為、投与期間中は定期的に尿蛋白の検査を実施。

・軽度催吐性リスク。